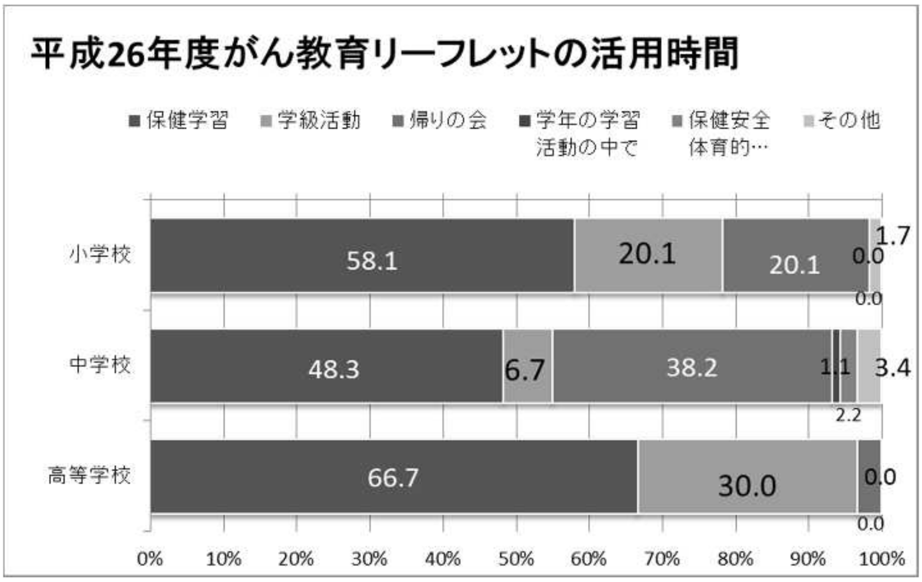
資料6

平成26年度　がん教育の実施状況調査

スポーツ健康課

（平成27年2月実施）

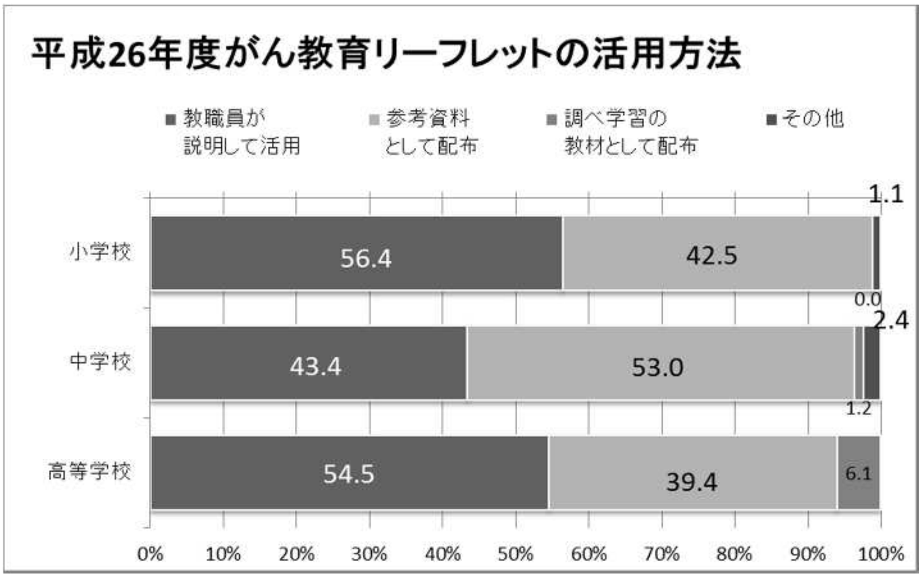
質問１　平成26年度に配布しました「がんに関する普及啓発（学習活動）リーフレット」は、どのような時間に配布、活用しましたか。



「がんに関する普及啓発（学習活動）リーフレット」の配布、活用は、県内のすべての学校で行われた。

校種別の配布、活用時は、すべての校種で「保健学習」の時間が一番多く、小学校104校(58.1%)、中学校43校(48.3%)、高等学校20校(66.7%)であった。

質問２　平成26年度に配布しました「がんに関する普及啓発（学習活動）リーフレット」をどのように活用しましたか。



「がんに関する普及啓発(学習活動)リーフレット」は、小学校、高等学校では、「教職員が説明して活用」が一番多く、小学校101校(56.4%)、高等学校18校(54.5%)であった。

中学校では、「参考資料として配付」が一番多く、44校(53.0%)だった。児童生徒の発達段階が考慮された活用が見られる。

質問３　「がんに関する普及啓発（学習活動）リーフレット」への意見

【小学校】

・保健学習のときに使い配布したい。

・教科書では深まらない内容があり、活用できた。

・山梨県のデータが有効だった。

・病気の予防で使うことができ、意識付けになる。

・年度始めに配布していただけるとありがたい。

【中学校】

・とてもわかりやすく、利用しやすい。DVD などがあると、大きい画面で授業でも使える。

・中学生が見やすい形に工夫されている。「なぜ、中学生の時期に学ぶべきなのか」が前面に出ていると良い。

・活用しやすいものなので、来年度は保健学習の際に用いたいと思う。
来年度も配布をお願いしたい。

・生徒の家庭内にがん患者がいることもあり、指導することが難しい側面がある。

【高等学校】

・とてもよくまとまっていると思う。

・使いやすい。

質問４　保健学習以外でのがん教育の実施状況

【小学校】

・学級活動で、生活習慣についての指導を行った。

・生活習慣予防の中のひとつとして食育だよりや保健だよりの中に入れるよう心がけている。

・学校医による生活習慣病予防の講話の中で少しふれている。

【中学校】

・学校薬剤師による健康福祉講話を行い、その中でがん教育にもふれた内容を実施している。

・保健集会を利用し、「がんについて知ろう」を発表した。

・学年集会で、禁煙教育をおこないその中でふれている。

【高等学校】

・家庭科の授業。

・生活習慣病の中の喫煙、飲酒と併行してがん教育をしている。

・理科「遺伝子と病気」